

●特集 平成 26 年 7 月 12 日の福島県沖の地震

(1) 概要

平成 26 年（2014 年）7 月 12 日 04 時 22 分に福島県沖で M7.0 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震の発震機構（CMT 解）は東西方向に張力軸を持つ正断層型である。この地震は 2011 年 3 月 11 日の「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」（以下、東北地方太平洋沖地震という）の余震域内で発生した。

気象庁はこの地震に伴い、同日 04 時 26 分に岩手県、宮城県、福島県の沿岸に対して津波注意報を発表した（同日 06 時 15 分に全て解除）。この地震により、宮城県の石巻市鮎川で 17cm、福島県の相馬で 15cm など、岩手県から福島県にかけての沿岸で津波を観測した。

また、気象庁はこの地震に対して、地震検知から 17.2 秒後の 04 時 22 分 39.0 秒に緊急地震速報（警報）を発表した。

この地震により、負傷者 1 人の被害が生じた（総務省消防庁による）。

また、この地震の発生後、この地震の震源付近で、最大震度 1 を観測する余震が 29 日までに 6 回発生した。

(2) 地震活動

ア. 最近の地震活動

1997 年 10 月以降の活動を見ると、東北地方太平洋沖地震の発生以前、今回の地震の震央付近（領域 a）では、M5 程度の地震が時々発生していた。東北地方太平洋沖地震の発生以降は、地震活動が活発化したが、2011 年 6 月以降は M5.0 以上の地震は発生しておらず、地震活動は徐々に低下してきていた。

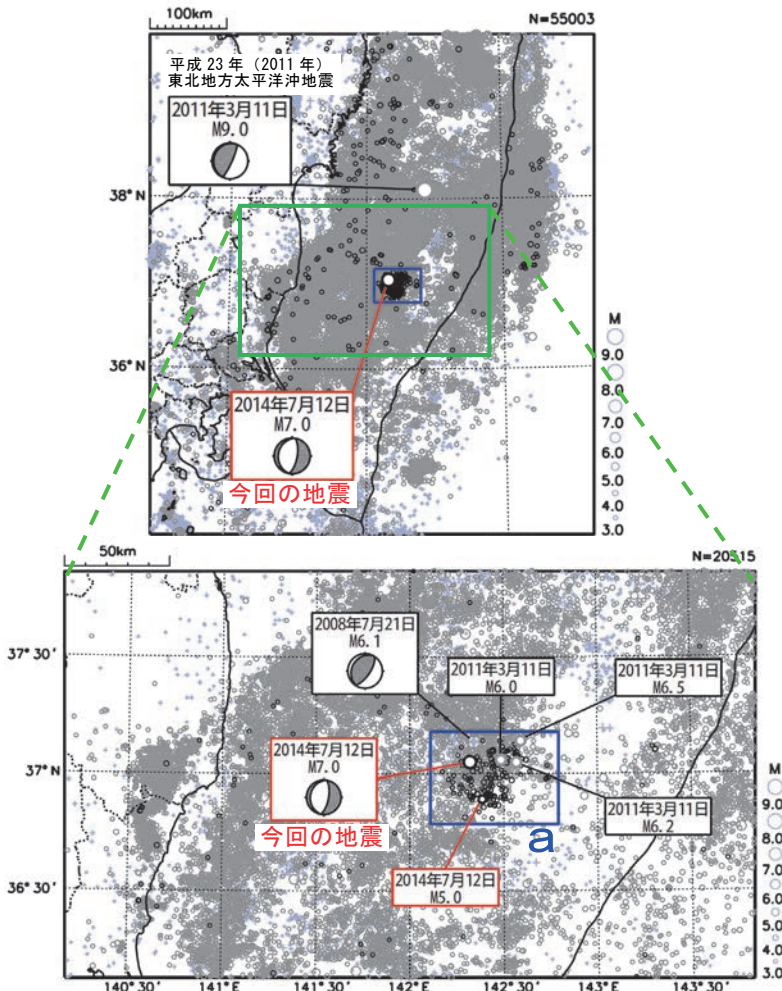


図 2-1 震央分布図
(1997 年 10 月 1 日～2014 年 7 月 31 日、
深さ 0～150km、M≥3.0)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、
2014 年 7 月の地震を濃い○で表示、
図中の発震機構は CMT 解

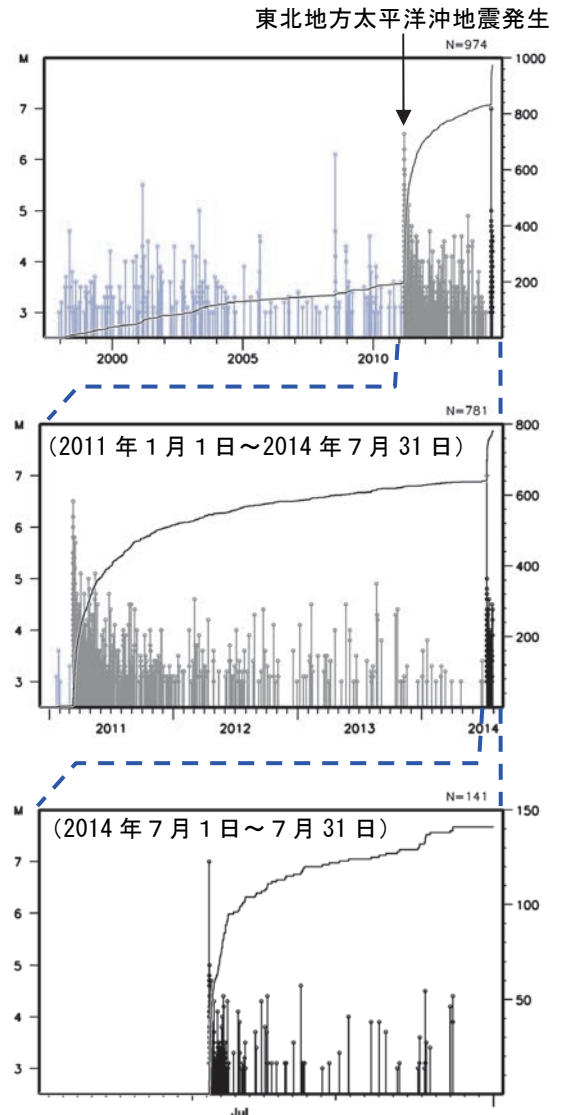


図 2-2 領域 a 内の M-T 図及び回数積算図